

橋渡し研究戦略的推進プログラム 2020年度研究シーズ募集（新規・継続）のお知らせ

2019年10月8日

革新的医療技術創出拠点プロジェクト 橋渡し研究戦略的推進プログラム 東京大学拠点
医科学研究所代表
東條 有伸

はじめに

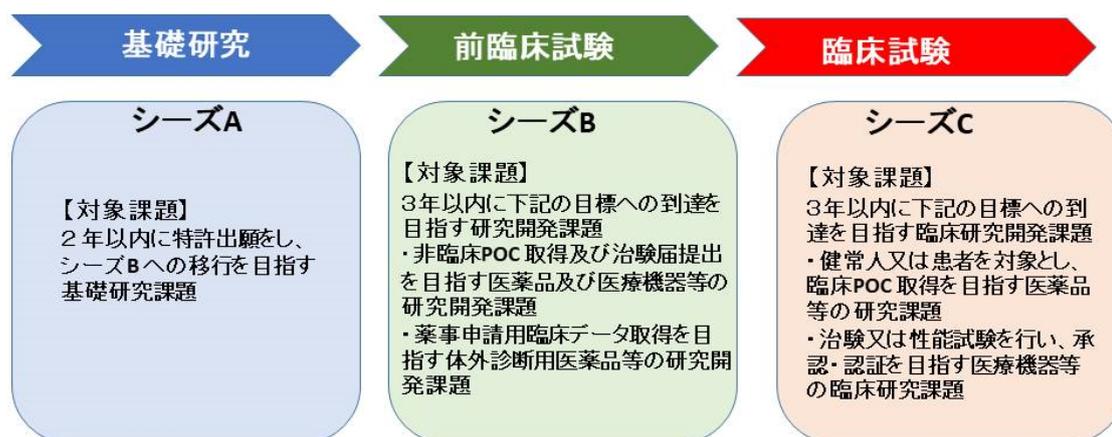
東京大学は、日本医療研究開発機構（AMED）「革新的医療技術創出拠点プロジェクト」の拠点（事業代表者：五神真総長、事業課題名：「知の協創の世界拠点」）を目指した TR の戦略的推進と展開）として、医薬品・医療機器・再生医療製品等の実用化・臨床応用を目指す研究（トランスレーショナル・リサーチ）を支援しております。

AMED では、平成 28 年度で終了した第二期「橋渡し研究加速ネットワークプログラム」に引き続き、平成 29 年度より第三期「橋渡し研究戦略的推進プログラム」を開始、実施しております。本プログラムでは革新的医療技術創出拠点の基盤を活用することで、他機関への支援・産学連携を推進し、基礎研究の成果を臨床研究やその実用化に結び付けることを目指しています。

AMED 「革新的医療技術創出拠点プロジェクト」 ホームページ:

<https://www.amed.go.jp/program/list/05/01/001.html>

支援対象シーズは下記のように開発の段階に応じて3つのステージに分類されます。



*シーズBCについては、アカデミアにおいて関連特許が出願済みであることが条件となります。

このたび、東京大学拠点では、2020年度の支援対象シーズ募集を次のとおり行うことといたしました。

補助金支援について

シーズ A については、1 課題あたり最大 500 万円/年の補助金配分（ただし大半は 100-250 万円/年）（間接経費の配分なし、原則 1 年単位、最長 2 年）を行っています。補助金配分の対象となるシーズ A の選定は東大拠点内で行い、AMED での審査はありません。AMED からの補助金を基に東大拠点で配分します。

シーズ B、C については、まず第一段階として、東大拠点内で応募課題の中から選抜を行います。次に第二段階として、選抜された応募課題を東大拠点から AMED に応募し、AMED が各拠点から申請された課題を審査し、その一部のみを採択します。

2019 年度は AMED が公募内容を大きく変更し、シーズ B、C 1 課題あたりの援助額は以下のとおりでした。

・もともと東大拠点の支援シーズとして登録されていて（つまり東大拠点に新規に申請したシーズでない）、かつ、プロトコル（シーズ B：非臨床試験、シーズ C：治験）に関する PMDA との対面助言実施済のシーズの場合

シーズ B: 5,000 万円/年程度以下、シーズ C: 8,000 万円/年程度以下<いずれも間接経費含まず、原則 1 年単位、最長 3 年>

・上記以外の場合

シーズ B、C いずれも 1,000 万円/年<間接経費含まず、最長 1 年のみ>

2020 年度については未定ですが、第三期「橋渡し研究戦略的推進プログラム」は 2021 年度末で終了となるため、東大拠点の支援シーズとして登録されていて、かつ PMDA との対面助言実施済のシーズであったとしても、2020 年度はシーズ B、C いずれも最長 2 年間の公募となる見込みです。

東大拠点の過去 5 年間におけるシーズ B、C の AMED 採択数は、下記のとおりで豊富な実績があります。

内訳：平成 27 年度；シーズ B；7 課題、シーズ C；4 課題、28 年度；シーズ B；3 課題、シーズ C；2 課題、平成 29 年度（第三期）；シーズ B；1 課題、シーズ C；2 課題（1 課題は辞退）、平成 30 年度；シーズ B；5 課題（二次公募採択 3 課題を含む）、シーズ C；3 課題（継続 1 課題、二次採択 1 課題を含む）、平成 31 年度；シーズ B；3 課題、シーズ C；2 課題

なお、提供できる補助金に限りがあることから、応募多数の場合には書類選考の上でヒアリングを実施させていただき、研究内容の画期性・実用化の可能性等を考慮して、支援課題を選定させていただくことを予定しております。

応募の手続きについて

シーズ B/C (新規、継続<2019 年単年度研究費支援課題>) : 原則的に全申請課題に対して下記の学内ヒアリングを実施し、採択課題を決定します。

シーズ A (新規) : 書面審査を通過したシーズのみに対して下記の学内ヒアリングを実施し、採択課題を決定します。

シーズ A (継続<2019 年度研究費支援課題>) : 全課題に対して書面審査を実施し、継続課題を決定します (ヒアリングは原則的に実施しません)。

《学内ヒアリング日程》

シーズ B/C (新規、継続<2019 年単年度研究費支援課題>) : 2019 年 12 月 1 日 (日) 終日、
場所 : 東京大学本郷キャンパス

シーズ A (新規) : 2020 年 2 月 2 日 (日) 終日、場所 : 東京大学本郷キャンパス

* ヒアリングを実施するシーズに対し、ヒアリング時間の連絡を行います (シーズ B, C : 2019 年 11 月下旬、シーズ A : 2020 年 1 月上旬頃の連絡を予定しています)。

* あらかじめ、ヒアリング日の予定の確保をお願いいたします。なお、研究代表者の出席が困難な場合には、他の研究者による代理発表をお願いいたします。

また、本プログラムに登録いただいた先生方におかれましては、研究の進捗状況のご確認、他の資金の獲得状況の開示、本プログラムに関連した会議 (外部で開催するものを含む) において研究成果のご発表をお願いすることがございますので、ご留意いただければと存じます。

以上についてご了解いただき、本プログラムへの登録・支援を希望される先生方におかれましては、添付の書式にご記入いただき、東京大学医科学研究所 TR・治験センターまで電子メールでご提出いただきますようお願い申し上げます。長さに制限はございませんが、簡潔にご記入下さい。必要に応じて、資料を添付いただいても結構です。

なお、記入に際しては、下記の注意事項に、十分ご注意ください。

《注意事項》

- 2020 年度の各シーズの申請枠、補助金の金額については現時点では未定です。ただし、前述のとおり、第三期「橋渡し研究戦略的推進プログラム」は 2021 年度末で終了となるため、2020 年度はシーズ A、B、C いずれも 2 年間のみの公募となる見込みです。
- 補助金交付シーズについては、拠点の支援に対する費用を拠点に対してお支払いいただく予定です。2019 年度の支援費用は次のとおりでした。シーズ A : 約 12~17 万円、シーズ B : 約 130~190 万円、シーズ C : 100 万~700 万円 (TR・治験センターの支援内容によって支援費用を算出)。2020 年度は未定。

- ・ シーズ B、C は、アカデミアにより関連特許が出願されていることが必要となりますので、2019 年 12 月末までに出願できない場合にはシーズ B、C で申請しないで下さい。
- ・ 拠点外シーズを積極的に募集していますので、学外の先生を研究責任者として申請することが可能です。学外（他大学、他研究機関）の先生との共同研究も申請可能です。
- ・ シーズ A の補助金の用途は、特許出願や知財強化に必要な研究で使用する費用や特許出願や知財強化の必要経費が原則となります。
- ・ 他拠点のシーズ公募に現在応募中又は採択済の研究は東大拠点に申請しないで下さい（他拠点での応募又は採択を辞退される場合にはその限りではありません）。仮に他拠点で採択されたことを理由に東大拠点での採択を辞退することとなった場合には、東大拠点側でシーズ評価に要した事務手数料を徴収させていただく可能性があります。一方で、橋渡しプログラム以外の AMED 実用化研究事業に同時に応募することは AMED からむしろ推奨されていますので、これらの AMED 実用化研究事業に採択されたことを理由とする辞退は問題ありません。

募集締め切り：2019 年 11 月 14 日（木）午前 9 時（厳守でお願いします）

提出方法：東京大学医科学研究所附属病院 TR・治験センターまで電子メールでお送り下さい。

E-mail: dctsm@ims.u-tokyo.ac.jp

橋渡し研究事業等につきましては、下記の HP も参考にしてください。

医科学研究所附属病院 TR・治験センターHP：<http://www.ims.u-tokyo.ac.jp/tr/>

ご不明な点がございましたら下記までお問い合わせください。先生方の積極的なご応募をお待ちしております。

問い合わせ、連絡先

東京大学医科学研究所附属病院 TR・治験センター

03-5449-5462（直通）

担当：長村、岡田

E-mail: dctsm@ims.u-tokyo.ac.jp